

アジアの子どもたちに絵本を届けよう！ ワークショップを開催します

岡山市は、シャンティ国際ボランティア会と協力し、「アジアの子どもたちに絵本を届けよう！」ワークショップを開催します。当日は、事前に申し込んだ市内の小中学生と保護者約160名が参加し、現地の様子を学びながら翻訳絵本づくりを行います。

1 日時

令和6年7月7日(日) 午前の部:10時~12時、午後の部:14~16時

2 場所

岡山県立図書館2階多目的ホール（北区丸の内二丁目）

3 内容

- 絵本を届ける現地の様子を講師から説明
- 日本語の絵本に、現地の言葉に翻訳したシールを貼り付け、送付用の絵本づくり

- 参加人数:小中学生・保護者 160 名程度
(各回 80 名程度)

- 絵本を送る国:カンボジア、ミャンマー、ラオス



1 翻訳シールを切る

2 絵本に貼る

4 講師

吉田 圭助 さん(シャンティ国際ボランティア会 広報・リレーションズ課)

学生時代からタイ国内最大規模のスラム地域での教育支援に 8 年間携わる。2017 年にシャンティ国際ボランティア会に入職。

※公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

世界各地において、紛争、災害、貧困などが原因で学校に通えない子どもたちの学ぶ機会が奪われている中、子どもたちがどのような環境下でも学ぶことができるよう、絵本などの提供を通じて教育の機会を届けている団体。「ESD 岡山アワード 2015」(岡山市・岡山 ESD 推進協議会主催)グローバル賞の受賞団体。本部東京都新宿区。 <https://sva.or.jp/>

5 その他

- ・取材を希望する社は、ワークショップ午前部の部又は午後部の開始時間までに会場へお越しください。
- ・本事業は、岡山市が2023年10月にユネスコ創造都市ネットワーク(文学分野)に加盟し、文学によるまちづくりを推進する中で、国際貢献事業として実施するものです。

【問い合わせ先】

岡山市 文化振興課 新居田・山下 電話番号:086-803-1054 内線3747

アジアの子どもたちに絵本を届けよう！


さん か しゃ ぼ しゅう
～ワークショップの参加者募集！～




「三匹のこぶた」作:イギリス童話 絵:山田 三郎 訳:瀬田 貞二
(福音館書店)
「わたこままるまるちゃん」文:犬飼 由美恵 絵:やべみづのり
(教育画劇)

シャンティ国際
ボランティア会
Shanti Volunteer Assoc.


©Shanti Volunteer Association, Yoshifumi Kawabata

 日 時 令和6年 7月7日 (日)

【①午前】10～12時、【②午後】14～16時

 場 所 岡山県立図書館 2F多目的ホール(北区丸の内2-6-30)

 参加費 無料 ※小学1～4年生は保護者の同伴が必須です。

 定 員 各回 40名程度 (対象:小・中学生)

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会では厳しい環境で暮らす子どもたちにも、知らない世界を知るドキドキ、時間を忘れて夢中になる楽しさ、たくさんの物語や言葉を知る喜びに出会ってほしいと願い、1999年から絵本が不足している地域に日本から「絵本を届ける運動」を進めています。

岡山市はこの活動に賛同し、絵本や文学を活用した世界のまちづくりに貢献するため、「アジアの子どもたちに絵本を届けよう」ワークショップを開催します。

<講師>

吉田 圭助 さん
シャンティ国際ボランティア会
広報・リレーションズ課



学生時代からタイ国内最大規模のスラム地域での教育支援に8年間携わる。2017年にシャンティ国際ボランティア会に入職。

<ワークショップでどんなことをするの?>

©Shanti Volunteer Association
写真の絵本:『わたしのワンピース』
作: 露伴 淳子 出版社: 小学社

絵本に翻訳シールを貼ります。
参加する小・中学生は、当日配布する説明書にそって、ハサミで翻訳シールを切り、位置や向きに気を付けて絵本に貼り付けます。



1 翻訳シールを切る



2 絵本に貼る

【申込方法】

QRコードを読み込んで
お申し込みください。

【申込締切】

6月24日(月)



※参加希望者が多数の場合は抽選となり、参加いただけない場合がありますのであらかじめご了承ください。参加の可否については、事務局からご連絡します。

【問合せ先】

岡山市文学賞運営委員会 (岡山市文化振興課内)
Tel: 086-803-1054

Email: bunkashinkou@city.okayama.lg.jp

【主催】岡山市・岡山市文学賞運営委員会



文学創造都市
おかやま



2023年10月、岡山市はユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野に日本で初めて認定されました。



ユネスコとは？

ユネスコは、国際連合の専門機関で、教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的としています。

UNESCO: United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

文部科学省
ホームページ



ユネスコ創造都市ネットワークとは？

ユネスコ創造都市ネットワークは、2004年に創設されました。

創造性(クリエイティビティ)を核とした都市の国際的なつながりによって、地域の創造産業の発展をはかり、都市の持続可能な発展をめざしています。創造都市には、文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化の7分野があり、参加する都市はネットワークを活用して、交流や人材育成を行います。2023年10月、岡山市は「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野」に日本で初めて認定されました。

世界の文学
創造都市
ホームページ



なぜ岡山が「文学創造都市」？

岡山市は、文化・芸術分野における魅力あるまちづくりを進めています。文学分野でも1985年から開催している「坪田譲治文学賞」や「市民の童話賞」など、長年にわたり全国に誇れる取組を行っています。

また、日本でもっとも有名な昔話として世代を越えて語り継がれる昔話「桃太郎」は、岡山の歴史・文化を背景として岡山のシンボルとして広く浸透しています。こうした歴史をふまえ、2022年に『「文学による心豊かなまちづくり」の更なる推進に向けた提言書』が岡山市長に提出されるなど、文学を中心とした創造都市づくりを進めています。

文学創造都市
おかやま
ホームページ

